

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年1月6日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670800384
法人名	有限会社 精 祥
事業所名	グループホーム やまぶき
所在地	鹿児島県出水市上鯖淵48番1 (電話) 0996-63-4176
自己評価作成日	平成25年11月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは、出水駅の近くにあり、介護付有料老人ホームを有する3階建て施設の2階部分である。敷地内は、広々とした散歩コースや園芸作業もできる環境にある。やまぶきの理念である「一緒にふれあい笑顔のある家庭的な暮らし」をモットーに、活かした日常生活を入居者様、職員と共に行い、季節の懐かしい行事や外出・ドライブにも力を入れ、ホームに閉じこもらない生活の支援をしている。入居者様ご家族に、満足していただけるよう「看取りの看護」に至るまでの協力医療機関との連携も確立されている。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年12月25日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、母体法人の介護付有料老人ホームと同一敷地内である。広い敷地で散歩や日光浴・園芸などを楽しめる環境にある。近くにコンビニエンスストアもあり買い物も楽しめる。
- ・運営推進会議が充実しており、事業所の状況や外部評価結果報告のほかに、避難時に近くのコンビニエンスストアの協力を依頼したり、施設内見学を計画する等、話し合い、サービス向上に活かしている。
- ・協力医療機関との24時間医療連携体制が整っている。
- ・施設長や管理者は職員の意見や提案を聞く機会を設け、提案等が利用者のケア対応等に活かされている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	独自の理念を掲げ、毎朝の朝礼時に出勤職員で唱和し、実践できるように取り組んでいる	開設時に職員で話し合い、ホーム独自の理念を作成し、玄関やホール・事務所に掲示している。朝礼時に唱和し、日々確認し合って具体的なケアについて実践を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会には加入しているが、高齢化が進み、年間行事活動がほぼない為、日常的にはあまり交流はできていない現状である。	自治会に加入し、散歩やドライブで外出の際には挨拶を交わしたり、事業所の夏祭りなどの施設行事には、地域へ回覧板や有線放送で呼びかけ、地域住民との交流を楽しんでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議を通じ自治会長・民生委員の方と定期的に話し、家族が遠方にいる方への対応などの相談等行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2カ月に1回の運営推進会議を設け、入居者様の状況や行事・事故・リヤリ・ミス報告をし意見交換やアドバイスを頂いている</p>	<p>会議は定期的に行われ、ホームからの報告や外部評価結果報告がされ、意見交換を行っている。現在取り組んでいる内容についても活発な意見が交わされている。火災避難訓練時に隣接しているコンビニエンスストアや地区の消防団の参加について協力を呼びかけ、検討を進めている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者とは日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>季節ごとに発行している便りを届けたり、相談等あればその都度行き来する体制は取れている。2カ月に1回の運営推進会議に出席していただいている</p>	<p>市の担当者とは日頃から連携関係ができており、「やまぶき便り」を届けたり、相談や情報を交換してアドバイスを得ている。福祉の担当者とも、細かに連携を図っている。地域包括支援センター職員との連携も取っており、運営推進会議の参加もある。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>安全・身体拘束廃止委員会を中心にマニュアル作成し、職員への理解を深めている</p>	<p>マニュアルを基本に勉強会を実施し、職員の共有認識を図っている。昼間は施錠せずに職員間の連携で安全な暮らしを支援している。最近では、スピーチロックを取り上げて全体研修を行ったり、言葉かけについて、職員間で注意し合う等、重点的に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全体職員会議内で、身体拘束や虐待の心理を考える学習会を行い、職員への理解を深めているが、新人職員までには至っていない		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在に至るまでに成年後見人制度を活用される方はいない。以前に研修には管理者が出席し職員への報告はしているが、現在の新人職員への報告には至っていない		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約・解約については、入居時に重要事項を説明し、不安にならぬよう十分な説明を行い納得してもらっている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者様の表情や対話で、不安や不満はないかを探り、ご家族様からは、面会時に気軽に声掛けを行い、相談・苦情が言えるような雰囲気づくりに努めている	利用者には担当職員が中心となって声かけを行ない、意向の把握に努めている。家族へは面会時に、管理者が気軽に話し合える雰囲気作りに留意し、声かけや状況説明等の報告を行い、要望等を聞くようにしている。出された意見等は職員で話し合い反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回の部署会議や毎朝の朝礼時に意見交換を行い運営に反映している</p>	<p>朝礼や毎月の会議で職員の意見を聞くようにしており、運営に反映を図るよう心がけている。提案によりヘルメットにライトを装備することになった。年1回の施設長による個人面談の他、管理者が日常的に個人相談を受けている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>役員会で勤務状況・勤務態度等日々の現状報告し、検討している</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修は内容に応じ職員が参加し、レポート提出・参考資料を基に施設内での学習会を重ねている。内部研修は、新人・中堅・リーダー研修等があり参加して頂いている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に加入し講演会やセミナーに積極的に参加し同業者との交流がある</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居事前に生活歴を把握し、入居後は常に傾聴の姿勢や受容、待つ姿勢・聞く姿勢で信頼関係を築けるよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時に十分な時間を設け不安や疑問を軽減できるよう勤め、入居後も、面会時に状況報告をこまめに行い信頼関係に努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様とご家族の意向をしっかりと把握し、安心してサービスが受けられることができるよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一方的な介護とならないよう、個々の得意分野を見出すことにより、活動につながり、生きがいや達成の喜びを共感するよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事などに参加して頂き、今の状況を理解・把握していただくこともあり、外出や受診の協力を得ている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人等の面会が継続するような雰囲気づくりに努め、本人の要望に沿えるよう努めている	行きつけの理・美容院やドライブで自宅近くまで行ったり、買い物で店に出かけたり、馴染の喫茶店に行くこともある。知人や友人の訪問があり、関係を継続できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共有のスペースでの個々の居場所を確保し、会話の難しい入居者様が孤立しないよう、職員が間に入りより良い関係が築けるよう配慮している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	併用の施設へ入居した場合は、入居者様と面会に出掛けるようにしており、ご家族様も気軽に声かけや訪問ができるような雰囲気づくりを行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	月1回のモニタリングを通し本人の思いを伺うも難しい為、日々の会話やその日の顔色・表情を察して言葉に出来ない思いを代弁できるようモニタリングに残すよう努めている	入居時のアセスメントを活用し、日常のケアの中で、会話や表情等から本人の意向の把握に努めている。面会の家族や知人からの情報を記録し、職員間で共有するよう努めている。意思疎通が困難の場合は、家族や関係者からの情報を得ながら、日々の表情や会話などから思いや意向の把握に努め本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	居前にご家族様に生活歴など入居者様のこれまでの暮らしが把握できるよう資料を作成し活用している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中で、本人様の表情の観察・バイタルチェックを行い、それぞれの状態に合わせて過せるよう支援している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各担当に月1回のモニタリングをしてもらい、部署会議を利用し意見交換や今後の方向性の確認をし、家族・入居者様の意見を反映した介護計画を作成している	本人や家族の意向を汲み取った上で、毎月モニタリングを実施し、部署会議で意見を聞き介護計画を作成している。見直しは6ヶ月毎に行っている。状況が変化したときは現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々のファイルを作成し、関わった職員が記入することにより、細かい情報が共有でき、モニタリングにも活かされている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様の身体状況により、併用施設にあるホットパックや特殊浴・個浴等使用している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設の行事への招待、ボランティア、防火訓練、運営推進会議への参加、他の事業者の講話等参考に支援に活かしている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	本人・家族が納得したかかりつけ医となっている。定期的な往診・受診があり、往診受診前には状態の報告をファックスし、情報の共有に努め、良好な関係を保ち適切な医療が受けられるよう支援している	本人や家族の希望によるかかりつけ医の受診を支援している。皮膚科や眼科の通院は家族の協力を得ている。職員が受診同行後は随時家族に報告している。2週間毎に協力医療機関からの往診があり、健康管理及び緊急時の24時間医療連携により、適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護員が中心となり健康管理に努めており、協力医との連携も密に取れている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	週2回以上面会に行き、その都度、病院関係者から状況報告を受け、情報の交換に努め、本人との会話・洗濯・オムツの補充など行っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看護・介護計画を作成し、職員間で統一した緩和ケアに努めており、状態の変化がみられるたび、家族・主治医・管理者・看護師で密に話し合い、状況の把握に努め、家族の同意書も作成した	契約時に重度化に伴う対応の指針を説明し、状態変化に従って主治医の診断を踏まえて状況を伝え、看取り指針で再度説明を繰り返し話し合い、随時意思を確認して同意をもらっている。24時間医療連携体制ができている。職員全員がその方針を共有している。家族の協力を得て取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	学習委員会を中心に月2回のミニ学習会を実施。事故発生時の対応及び報告ルートチェック表を作成、全職員が対応できるように取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防委員会を中心にマニュアル作成し、年2回全体避難訓練、緊急連絡網訓練を行っている</p>	<p>年2回消防署の立会いのもと、昼夜間想定避難訓練を実施している。スプリンクラーを設置し防災設備もある。運営推進会議での助言で隣接しているコンビニエンスストアに協力依頼の予定である。さらにヘルメットにライトを装備する予算を計上している。地域住民へは有線放送で訓練の周知を図っており、地域代表者が訓練に参加している。災害用の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	例えば、排泄の有無を尋ねる際は声のトーンを押さえたり、耳元で聞くなどの配慮は日常的にしている。記録文書の中には他者が登場する場合は各居室名を記入する形式を取っている	利用者の人格を尊重する言葉かけや対応に留意し、研修で理解を深め、職員間で注意し合う等の対応に努めている。記録物は事務室等で保管している。羞恥心に対する配慮が徹底されており、利用者のプライドを損なわない支援をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	待つ姿勢・聞く姿勢を常に持ち、自己決定していただけるようジェスチャーや方言を用いての声かけ働きかけを行っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々、理念に沿ったケアを念頭に、押し付けの介護にならないよう、個々のペースにあわせ援助している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	行きつけの美容院へご家族で外出されたり、訪問美容院を利用していただいている。髪染めは入浴前に1名（希望者）定期的に行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材や畑から一緒に収穫してきた野菜を取り入れたり、誕生日には個々に思考調査をしメニュー作成を行っている。入居者様と下ごしらえ・茶碗拭きなど役割分担し、共に行っている	菜園での栽培や収穫を楽しみ、菜園で採った旬の野菜を食材に嗜好に配慮した献立を工夫している。下ごしらえや食事の準備・後片づけを職員と一緒にしている。誕生会や敬老会の行事食なども手作りで食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事の摂取量は、毎日チェック把握し、バランスの良いメニュー作りに努め入居者さまに応じて量の配慮をしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨き、夜間のポリデント消毒を実施。力量に応じて見守り、介助を行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の状況に応じ対応している。基本的に日中はオムツはせず、シグナルや定期的な誘導をし、失敗しないよう支援している	排泄チェックシートで排泄パターンを把握し、トイレでの排泄を大切にしている。おむつを減らす取り組みと排泄の自立を支援している。夜間のポータブルトイレを活用しながら排泄を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、牛乳を提供し、夏場は飲むヨーグルトを提供。排便チェックをし、腹部のマッサージやホットパックを行っている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	木曜日以外を入浴日とし、概ね時間は決まっているがバイタルの状況や身体・精神状態を考慮し、声かけ入浴していただいている	入浴日は決まっているが、希望があれば毎日の入浴も可能である。身体の状況により、併設する有料老人ホームの機械浴用浴槽で安全に入浴できるように支援している。入浴をいやがる利用者には、職員間で連携し、足浴やシャワー浴を行うなどして清潔を保てるよう柔軟に対応している。同性介助の希望にも沿って、入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	身体の負担をみながら、昼寝をしていただいたり、夜は個々の希望に添って休んでいただくようにしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の服用の情報をファイルにし、いつでも確認できるようにしている。薬の変更時はその都度、職員へ報告、周知している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごすように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の能力に応じ、茶碗洗い・拭き・下ごしらえ・洗濯干し・タタミ・ちり紙折・茶の葉入れ等の役割を見出し、活かした日常生活を支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気が良い日など、ドライブに出掛けたり、個々の希望に添えるようご家族の協力を得ながら外出を計画している	日常的には散歩は毎日実施し、2階の広い駐車場で日光浴やお茶会を行っている。一人ひとりの楽しみごとに合わせて買い物やドライブ・墓参など戸外に出かけられるよう支援している。年間計画を立てて、初詣やツル見学など家族も一緒に出かけることもある。外出の困難な利用者も車椅子対応車を活用している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	数名の方は小銭程度を自己管理しているが、小口現金としてご家族様から預り、必要なもの・希望されているもの、外出時などに使わせていただいている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	遠方におられるご家族からは、定期的にお電話で入居者様と会話していただいたり、お便りが届いたときなどお返事の支援をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間と食堂が同じフロア内あり、食事の準備の音・臭いなど生活感を感じられるような空間となっており、季節に応じた作品を入居者様と一緒に作成し、季節感を感じられるような取り組みをしている	共用空間は広々として換気や採光に配慮し、清潔である。畳のスペースにコタツもある。ソファが置いてあり、好きな場所でくつろぐことができる。作品で季節感の工夫がしてある。併設施設に共同で使える広いスペースがあり、訪問した家族や友人知人が一緒に過ごせる場所にもなっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファをセッティングし、好きな場所で過ごせるような環境作りを提供している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時より、ご家族様へ入居者様が以前より使用していた馴染みの家具や使い慣れた茶碗など持ってきていただけるよう声かけしている	居室は、利用者が使い慣れたタンスやソファ・テーブル・椅子等の家具が持ち込まれ、家族の写真等で飾られている。仏壇の持ち込みもあり、本人が落ち着いて過ごせるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下・トイレ・浴室など手すりを設置。トイレは分かるように大きな字で表示している。廊下・食堂など不要なものを置かないようにし、危険防止に努めている		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない